

あした 未来へつなぐ

[CS]



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文=本間 吾里砂

[2015年4~6月掲出のポスター]

みんなの思いやりで快適な車内に!



リュックサックがぶつかってもよ

リュックサックは手に持つか荷棚をご利用ください。

Please hold your backpack in your hand or put on the baggage rack on the train.



今年四~六月の三カ月間は「リュックサックを背負ったままの乗車」をテーマにしたポスターを掲出。JR北海道では、三カ月ごとに異なるテーマのポスターを制作し、お客さまに乗車マナー向上を呼びかけています。

車内を巡回しお客さまに協力を呼びかける「乗車マナー添乗」を実施しました。乗車マナー向上のための啓発活動も展開

J

R北海道では、「列車内で迷惑に感じている行為」に対し、お客さまの声を特に多かつたものについて、改善を図るための取り組みを展開しています。その一つが、平成十一年から年二回実施している「乗車マナー添乗」です。昨年のお客さまアンケートでは「荷物による座席の専有」「大声での会話」

「リュックサックを背負ったままの乗車」「ヘッドホンの音漏れ」「携帯電話での通話」にお客さまの声が集中。五月上旬に実施した乗車マナー添乗では、特に目についた「リュックサックを背負ったままの乗車」について、リュックサックは荷棚に置くか、手に持つよう協力を呼びかけました。あわせて、駅到着時にお客さまの



北海道クリーン・システム(株)の警備員による乗車マナー添乗も月に1回程度実施しています。

スムーズな乗降を図るため、ドア付近を広く開けるようアピール。

乗車マナー添乗には、JR北海道の社員のほか、警察、学校関係者らも参加し、朝と夕方の時間帯に運行する列車に乗り込みました。今年度は札幌だけでなく、釧路、旭川、函館の各支社とも期間を合わせ、各エリアにおいて一斉に実施。ちなみに札幌圏は小樽、札幌、美唄、札幌、千歳、札幌、石狩当別、苫小牧、岩見沢と、通勤通学で列車を利用するお客さまの多い区間が対象となりました。

また、JR北海道では年四回、三カ月ごとに乗車マ

ナーをテーマにしたポスターを駅構内に掲示するとともに、車内放送や駅の構内放送を通じて、乗車マナー向上の啓発活動を行っています。お客さまが目にしやすいドア付近に掲示物を貼るのもその一環です。車内放送は、この春から列車通学や通勤を始めた新入学生や新社会人に向け、四月上旬にも特に重点的に実施しました。平成二十二年からは、グループ会社「北海道クリーン・システム株式会社」の警備員に委託し乗車マナー添乗を開始。毎年、札幌圏と旭川圏で、月一回程度のペースで取り組んでいます。

ただし、乗車マナー向上を実現するためにはお客さまの協力が必要不可欠。JR北海道では、今後も乗車マナー添乗など地道な活動を継続しお客さまへご協力を呼びかけ、乗車マナーの向上に努めていきます。